

合併協議会だより

発行・編集/相模原・津久井地域合併協議会 〒229-0036 神奈川県相模原市富士見6-6-23 けやき会館3階 ☎042-769-8206 ホームページ http://www.st-gappei.jp

合併協議すべて整う

第7回合併協議会を開催

平成16年11月18日(木)に、けやき会館(相模原)において、第7回合併協議会を開催しました。

当日は、まちづくりの将来ビジョン、法定合併協議会について協議された他、市町村合併シンポジウムと

藤野町との合併協議に係る調整状況の報告がありました。内容は次のとおりです。

これにて任意合併協議会が予定していた協議事項については、すべて協議が整いました。

第7回合併協議会の結果報告

協議第33号

まちづくりの将来ビジョンについて

第6回合併協議会において承認された「まちづくりの将来ビジョン」素案に対し、パブリック・コメントとアンケート調査(1万人対象)を実施し、住民の皆様からいただいたご意見

見やご提案について「まちづくりの将来ビジョン」検討委員会において検討され、取りまとめられた「まちづくりの将来ビジョン」について協議がされ、一部修正のうえ決定されました。パブリック・コメント及びアンケート調査の結果内容については、4面から7面をご覧ください。

主な意見

津久井町委員 「遊休農地等の利用促進」とあるが、「農地の有効利用と地産地消の総合農政促進」が妥当だと考える。また、駅前密集市街地の改善の主要な施策例に、橋本駅周辺の再整備を加えるべきと考える。

津久井町委員 「津久井地域への鉄道の延伸」は削除しないでほしい。

また、ダム湖の湖岸の崩落問題も取り上げてほしい。

協議第34号

法定合併協議会について

任意合併協議会での協議が整ったことから、次の段階として法定合併協議会を設置し、市町村建設計画の作成、その他市町村の合併に関する協議を行っていくことが確認されました。今後は、各市町の長が法定合併協議会の設置について協議し、それぞれの議会に議案として提案を行い、すべての議会で可決された場合に法定合併協議会が設置されることとなります。

主な意見

小林副会長 任意合併協議会規約第2条に協議会の事務がうたわれているが、法定合併協議会についての協議は含まれていない。任意合併協議会で法定合併協議会について協議を行うことは越権行為であると考える。

事務局 規約第2条第1号の「関係市町の合併に関する協議」に含まれると考えている。

津久井町委員 法定合併協議会の設置自体は、各市町の議会が決めることであるが、任意合併協議会の協議終了に伴い次のステップに進むという意味で、法定合併協議会で協議を継続していくことをこの場で確認することは、全く問題がないと思う。

報告事項

次の事項について、合併協議会事務局より報告がありました。

市町村合併シンポジウムの結果について

合併協議会が、10月16日、20日、23日に開催した「市町村合併シンポジウム」の結果について、報告がありました。概要については、下欄をご覧ください。

その他

藤野町との合併協議に係る調整状況について

今年8月の藤野町からの相模原市、城山町、津久井町、相模湖町及び藤野町での合併に向けての協議及び支援の申し入れから現在までの検討経過や相模原市、城山町、津久井町、相模湖町及び藤野町で合併協議を円滑に進めるための調整等を行う「相模原市及び津久井郡合併連絡協議会」を設置したことなどの報告がありました。

アドバイザーから一言

牛山アドバイザー 本日ももって様々な協議事項について、一定の結論が出され、またパブリック・コメント等で出た意見を踏まえて「まちづくりの将来ビジョン」が確認された。今後は各市町の首長、議会の決定により、法定合併協議会が設置され、平成18年3月の期日に向けた議論を進めていくことになる。「まちづくりの将来ビジョン」は、さらに住民への周知、意見交換等が進むと思うが、ぜひ、これを実らせる形で議論願いたい。

市町村合併シンポジウム パネルディスカッション

10月16日(土)相模原南市民ホール、20日(水)杜のホールはしもと、23日(土)県立相模湖交流センターにおいて開催された市町村合併シンポジウムで行われたパネルディスカッションの内容のうち、10月20日、23日分を今回掲載します。(なお、10月16日分については、合併協議会だより第7号に掲載しております。)

【パネルディスカッション】10月20日杜のホールはしもと、10月23日相模湖交流センター

パネルディスカッションでは、「合併で目指そう新しいまちづくり」をテーマに、意見交換が行われ、会場からの質問票に対する回答も行われました。その概要をまとめて掲載します。なお、意見交換については、10月20日と23日分を併せて掲載し、意見交換、質疑応答とも16日分の意見(合併協議会だより第7号に掲載)と重複するものは、省かせていただいております。

地域の現状を踏まえた将来のまちづくりの可能性(新市の目指す将来像)

一戸 男性に協力していただき、あらゆる政策決定の場に女性が参画できるようにすると良いと思う。男女共同参画推進センターを拠点に地域の活動の輪が広がることを期待する。尾崎 新市として短時間で移動できる交通網があると便利だと思ふ。人が住みたくなくなるような魅力あるまちづくりを進めていただきたい。

魅力あるまちづくりの実現のために必要なもの
一戸 女性の自立や社会参加のための活動援助などを行うときに公民館が重要な役割を果たすのではないかと。中里 さがみ縦貫道路のインターチェンジ付近や主要幹線道路に拠点を作り、地域の活性化ができれば良いと思ふ。尾崎 保健や医療、福祉の充実とともに防犯対策も重要になると思ふ。これからは地域との連携を深め、ボランティアの活用、育成が大事になると思ふ。

質疑応答
参加者からの質問にパネリストが答えました(質問票によるもの)。

10月20日
Q、合併によって道路や下水道整備などで地域間の格差が生じるのではないかと。
小川 地域にふさわしい施設を作っていくことが必要と考えられており、格差が生じるとは思わない。

10月23日
コーディネーター
吉田民雄 東海大学政治経済学部教授
パネリスト
尾崎洋子 津久井町婦人会連絡協議会会長
中里州克 まちづくりの将来ビジョン検討委員会副委員長
小川勇夫 相模原・津久井地域合併協議会副会長
溝口正夫 相模原・津久井地域合併協議会副会長
天野望 相模原・津久井地域合併協議会副会長

2ページに続く